



スクールカウンセラーだより 4号

令和7年4月
岩美町立岩美中学校

スクールカウンセラーの森田です。今年も引き続き岩美中校区を担当することになりました。よろしくお願いします。4月になって新たなスタートが始まりました。それぞれに何かしらの期待や願いを描きながら学校生活を送っていることと思います。

さて、ものごとはものの見かたや考えかたによって結果が大きく違ってきます。

ハーバード大学のローゼンタール博士は能力を引き出すための研究を行い右図のように「**ピグマリオン効果**」として発表しました。子どもに期待をかけて成功を信じることは能力を開花させるヒケツです。その反対に、子どもに期待をせず関心も持たないと能力は低下してしまいます。しかし、ほめすぎや期待のしすぎは逆効果になることもあります。ほめられすぎると困難な課題に挑戦する意欲を失ってしまいます。期待しすぎると子どもにとっては「圧」と感じてしまいます。

ピグマリオン効果

人は他者から期待されることで学習や活動などの期待に沿った成果を出す傾向がある



意欲を引き出すには、「**努力**」や「**過程**」をほめるように心がける必要があります。スタンフォード大学のドウエック博士の研究では左図のような結果が出ました。努力をほめられた子どもは「努力する自分」を実現するために頑張るようになります。

能力を伸ばすためにスクールカウンセラーもお手伝いさせていただきます。